



## 平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月2日

上場会社名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション  
 コード番号 1712 URL <http://www.daiseiki-eco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

(氏名) 二宮 利彦  
 (氏名) 村上 実

TEL 052-611-6350

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	5,797	87.3	701	71.3	701	72.4	416	72.9
27年2月期第1四半期	3,094	21.1	409	37.1	407	37.0	240	46.9

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 452百万円 (70.1%) 27年2月期第1四半期 265百万円 (10.7%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
28年2月期第1四半期	59.55		—	
27年2月期第1四半期	34.43		—	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	14,013		8,788		61.1	
27年2月期	12,377		8,364		66.0	

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 8,565百万円 27年2月期 8,170百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00	10.00
28年2月期	—	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
第2四半期(累計)	8,731	46.2	958	39.4	959	39.5	566	39.0	81.05	
通期	13,636	6.1	1,367	11.5	1,365	11.7	798	11.7	114.32	

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)  
 (注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無  
 (注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積り変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期1Q	6,986,300 株	27年2月期	6,986,300 株
② 期末自己株式数	28年2月期1Q	— 株	27年2月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期1Q	6,986,300 株	27年2月期1Q	6,986,300 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて判断しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策などを背景とした円安・株高効果により、輸出関連企業を中心とした企業業績の好転や、公共投資の増勢持続等から緩やかな回復傾向を辿りました。一方世界経済は、米国では企業業績の改善に加え、雇用情勢や個人消費の回復により景気は緩やかな拡大傾向にあります。欧州諸国の政府債務リスクの長期化や中国経済をはじめとする新興国経済の先行き不透明感も多く、日本経済にとっては一部下振れ要因を抱えた状況で推移いたしました。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす不動産市況は、部分的ではあるものの地価の下落基調からの転換の動きは持続的なものになり、また、ここ数年減少傾向にあった土地取引も、その件数は平成24年より増加に転じ、平成25年は前年同期比7.4%増まで回復し、その趨勢は継続しているものと思われ。一方、企業の設備投資は本格的な動きというには程遠く、当社グループを取り巻く環境も一部懸念材料を抱えた状況で推移してまいりました。

このような背景のもと、土壤汚染調査・処理事業を大きな柱に据え、リサイクル分野や環境分析分野への展開も積極的に進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,797百万円（前年同期比87.3%増）となりました。また、引き続き広範囲にわたる原価低減を進めてまいりました結果、利益面では営業利益701百万円（同71.3%増）、経常利益701百万円（同72.4%増）、四半期純利益416百万円（同72.9%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### (土壤汚染調査・処理事業)

住宅市場は若干停滞しておりますが、民間設備投資の回復など、取り巻く環境は概ね堅調に推移してまいりました。そのような中で、営業体制の強化及びグループ会社間の連携強化による情報収集の強化等、新たな需要の開拓に注力してまいりました結果、売上高5,431百万円（前年同期比97.2%増）、営業利益803百万円（同86.8%増）となりました。

#### (廃石膏ボードリサイクル事業)

住宅市場の伸び悩みの影響もあり、廃石膏ボードの荷動きも伸び悩むこととなりました。当期より株式会社グリーンアローズ九州を連結決算に加えておりますが、株式会社グリーンアローズ中部の新工場稼働に伴う減価償却費の負担増が影響した結果、売上高255百万円（同44.0%増）、営業利益16百万円（同56.1%減）となりました。

#### (その他)

バイオディーゼル燃料の出荷等は概ね堅調に推移しましたが、PCB関連事業の荷動きは前年同期が突出していたため、当第1四半期連結累計期間は減少に転じました。その結果、売上高154百万円（同25.6%減）、営業利益20百万円（同53.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は14,013百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりであります。

#### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末比で1,223百万円増加し、6,018百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加1,684百万円によるものであります。

#### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末比412百万円増加し、7,995百万円となりました。これは主に、機械装置及び運搬具の増加521百万円によるものであります。

#### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末比で1,241百万円増加し、4,968百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加840百万円、支払手形及び買掛金の増加未払法人税等の増加394百万円によるものであります。

#### (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末比で48百万円減少し、255百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債の減少45百万円によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比で424百万円増加し、8,788百万円となりました。これは主に、四半期純利益416百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年7月2日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表のとおりであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、株式会社グリーンアローズ九州は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込み額の期間帰属方法を期間定額基準から、給付算定式基準へ変更しております。また、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が45,290千円減少し、利益剰余金が29,257千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	918,914	732,018
受取手形及び売掛金	3,154,846	4,839,433
たな卸資産	526,514	269,324
その他	221,128	218,854
貸倒引当金	△26,573	△41,501
流動資産合計	4,794,830	6,018,129
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,524,575	1,655,240
土地	4,487,589	4,522,876
その他(純額)	940,144	1,262,938
有形固定資産合計	6,952,309	7,441,055
無形固定資産	6,860	9,645
投資その他の資産		
その他	665,515	586,799
貸倒引当金	△42,235	△42,235
投資その他の資産合計	623,279	544,563
固定資産合計	7,582,449	7,995,264
資産合計	12,377,280	14,013,394
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,350,607	1,773,056
短期借入金	1,500,000	2,340,000
未払法人税等	-	284,075
引当金	35,481	6,601
その他	822,561	565,168
流動負債合計	3,708,649	4,968,900
固定負債		
引当金	81,174	85,899
退職給付に係る負債	98,787	53,690
その他	124,245	116,079
固定負債合計	304,206	255,669
負債合計	4,012,856	5,224,570

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,248,438	2,248,438
資本剰余金	2,043,951	2,043,951
利益剰余金	3,780,317	4,144,309
株主資本合計	8,072,707	8,436,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,589	129,508
退職給付に係る調整累計額	△662	△521
その他の包括利益累計額合計	97,927	128,987
少数株主持分	193,788	223,137
純資産合計	8,364,423	8,788,824
負債純資産合計	12,377,280	14,013,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	3,094,601	5,797,786
売上原価	2,478,583	4,818,335
売上総利益	616,017	979,450
販売費及び一般管理費	206,535	277,871
営業利益	409,481	701,579
営業外収益		
受取利息	0	10
受取地代家賃	3,677	408
受取保険金	—	1,192
補助金収入	2,089	52
その他	421	489
営業外収益合計	6,188	2,154
営業外費用		
支払利息	715	1,628
固定資産賃貸費用	5,574	—
保険解約損	2,242	—
その他	44	207
営業外費用合計	8,577	1,835
経常利益	407,093	701,898
特別利益		
固定資産売却益	10,299	—
特別利益合計	10,299	—
特別損失		
固定資産除却損	632	210
特別損失合計	632	210
税金等調整前四半期純利益	416,760	701,687
法人税、住民税及び事業税	134,141	279,358
法人税等調整額	31,272	1,385
法人税等合計	165,413	280,744
少数株主損益調整前四半期純利益	251,347	420,943
少数株主利益	10,739	4,845
四半期純利益	240,607	416,097

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	251,347	420,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,263	30,918
退職給付に係る調整額	-	141
その他の包括利益合計	14,263	31,059
四半期包括利益	265,611	452,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,871	447,157
少数株主に係る四半期包括利益	10,739	4,845

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボー ドリサイク ル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,753,827	176,411	2,930,238	164,362	3,094,601	—	3,094,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	852	852	43,379	44,231	△44,231	—
計	2,753,827	177,263	2,931,090	207,742	3,138,833	△44,231	3,094,601
セグメント利益	430,372	36,488	466,860	43,492	510,353	△100,871	409,481

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業等を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額△100,871千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボー ドリサイク ル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,431,317	254,481	5,685,799	111,986	5,797,786	—	5,797,786
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	939	939	42,535	43,474	△43,474	—
計	5,431,317	255,421	5,686,739	154,521	5,841,261	△43,474	5,797,786
セグメント利益	803,954	16,015	819,969	20,251	840,221	△138,642	701,579

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業、PCB関連事業等を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額△138,642千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。